

教科		科目	1年次	2年次	合計
基礎	学科	情報工学概論	30	0	30
		情報処理システム概論	40	0	40
		情報システムセキュリティ概論	50	0	50
		経営管理	140	0	140
		ハードウェア概論	60	0	60
		情報数学	40	0	40
		プログラミング論	60	0	60
		プログラミング言語	20	0	20
		オペレーティングシステム	60	0	60
		ネットワーク概論	50	0	50
		安全衛生	10	10	20
	計	560	10	570	
	実技	情報処理システム操作基本実習	90	50	140
		プログラミング基本実習	250	280	530
		ネットワーク基本実習	40	0	40
安全衛生作業法		20	20	40	
計	400	350	750		
系基礎合計			960	360	1,320
専攻	学科	システム工学	0	90	90
		生産管理	50	0	50
		計	50	90	140
	実技	プログラム設計実習	200	120	320
		システム設計実習	0	300	300
		業務分析実習	0	70	70
		ネットワーク構築実習	60	80	140
	計	260	570	830	
専攻合計			310	660	970
その他	学科	社会	46	22	68
		体育	20	20	40
		情報処理特論	136	0	136
		コンピュータ制御概論	0	14	14
	計	202	56	258	
	実技	卒業制作	0	294	294
		情報処理実務実習	84	160	244
		コンピュータ制御システム設計実習	0	26	26
計	84	480	564		
その他合計			286	536	822
学科合計時間			812	156	968
実技合計時間			744	1,400	2,144
総合計時間			1,556	1,556	3,112

教科名	区分	実施時期	時間数
情報工学概論	基礎学科	一年次 第一期	30
<b>《 ねらい・到達目標 》</b>  コンピュータシステムに関する知識の習得 (情報処理技術者試験の午前科目の知識)  <b>《 概 要 》</b>  情報処理に関する基礎知識を習得する。			
<b>授 業 内 容</b>			
1 コンピュータの歴史 2 コンピュータの五大装置 3 データの表現 4 2・10・16進数と基数変換 5 データの表現形式			
教科書・参考書	ITワールド(インフォテックサーブ)		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備 考	情報処理技術者試験の午前範囲		

教科名	区分	実施時期	時間数
情報処理システム概論	基礎学科	一年次 第二期	40
<b>《 ねらい・到達目標 》</b>  コンピュータシステムに関する知識の習得 (情報処理技術者試験の午前科目の知識)  <b>《 概 要 》</b>  情報処理システムの処理形態や評価方法に関する知識を習得する。			
<b>授 業 内 容</b>			
1 情報処理システムの処理形態 2 高信頼化システムの構成 3 情報処理システムの評価 4 マルチメディアシステム			
教科書・参考書	ITワールド(インフォテックサーブ)		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備 考	情報処理技術者試験の午前範囲		

教科名	区分	実施時期	時間数
情報システムセキュリティ概論	基礎学科	一年次 第二期	50
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <p>コンピュータシステムに関する知識の習得 (情報処理技術者試験の午前科目の知識)</p> <p>《 概 要 》</p> <p>ネットワーク及びセキュリティに関する知識を習得する。</p>			
授 業 内 容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報セキュリティの概要</li> <li>2 情報セキュリティ対策</li> <li>3 情報セキュリティ関連法規とガイドライン</li> <li>4 インターネットセキュリティ</li> <li>5 ネットワークソフト</li> </ol>			
教科書・参考書	ITワールド、IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備 考	情報処理技術者試験の午前範囲		

教科名	区分	実施時期	時間数
経営管理	基礎学科	一年次 第三期	140
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <p>コンピュータシステムに関する知識の習得（情報処理技術者試験の午前科目の知識） また、日本商工会議所簿記検定3級の合格を目標とする。</p> <p>《 概 要 》</p> <p>簿記会計に関する知識を習得する。</p>			
授 業 内 容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記の目的</li> <li>2 取引・仕訳・勘定・試算表</li> <li>3 商品売買の記帳方法</li> <li>4 現金および預金・手形の記帳方法</li> <li>5 その他の勘定の記帳方法</li> <li>6 主要簿および補助簿</li> <li>7 伝票</li> <li>8 決算</li> <li>9 その他の決算整理</li> <li>10 損益計算書および貸借対照表の作成</li> </ol>			
教科書・参考書	日商簿記3級テキスト（大原出版）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備 考	情報処理技術者試験の午前範囲		

教科名	区分	実施時期	時間数
ハードウェア概論	基礎学科	一年次 第一期	60
<b>《ねらい・到達目標》</b>  コンピュータシステムに関する知識の習得 (情報処理技術者試験の午前科目の知識)  <b>《概要》</b>  コンピュータのハードウェアに関する知識を習得する。			
<b>授 業 内 容</b>			
1 中央処理装置と主記憶装置 2 補助記憶装置 3 入出力装置			
教科書・参考書	ITワールド(インフォテックサーブ)		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備考	情報処理技術者試験の午前範囲		

教科名	区分	実施時期	時間数
情報数学	基礎学科	一年次 第一期	40
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <p>コンピュータシステムに関する知識の習得 (情報処理技術者試験の午前科目の知識)</p> <p>《 概 要 》</p> <p>応用数学に関する知識を習得する。</p>			
授 業 内 容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 応用数学</li> <li>2 オペレーションズリサーチ</li> <li>3 インダストリアルエンジニアリング ( I E ) 分析手法</li> <li>4 品質管理 ( Q C ) 手法</li> <li>5 業務改善</li> <li>6 グラフ</li> </ol>			
教科書・参考書	I T 戦略とマネジメント (インフォテックサーブ)		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備 考	情報処理技術者試験の午前範囲		

教科名	区分	実施時期	時間数
プログラミング論	基礎学科	一年次 第一期	60
<b>《 ねらい・到達目標 》</b>  各種のデータ構造を理解し、データ操作についてアルゴリズムを流れ図で表現できる。  <b>《 概 要 》</b>  プログラムを作成する上で必要となる基礎知識として、データ構造と基本的なアルゴリズムを習得する。			
<b>授 業 内 容</b>			
1 データ構造 ① 配列構造 ② リスト構造 ③ スタックとキュー ④ 木構造 2 基本アルゴリズム ① フローチャート ② データ探索処理 ③ データ整列処理 ④ その他のアルゴリズム			
教科書・参考書	I Tワールド(インフォテックサーブ)		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備 考	関連科目：プログラム設計実習		



教科名	区分	実施時期	時間数
プログラミング言語	基礎学科	一年次 第二期	20
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <p>コンピュータシステムに関する知識の習得 (情報処理技術者試験の午前科目の知識)</p> <p>《 概 要 》</p> <p>プログラム言語及び言語プロセッサに関する知識を習得する。</p>			
授 業 内 容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プログラム言語の分類</li> <li>2 代表的なプログラム言語</li> <li>3 言語プロセッサ</li> <li>4 プログラムの属性</li> </ol>			
教科書・参考書	ITワールド(インフォテックサーブ)		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備 考	情報処理技術者試験の午前範囲		

教科名	区分	実施時期	時間数
オペレーティングシステム	基礎学科	一年次 第一期	60
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>コンピュータシステムに関する知識の習得 (情報処理技術者試験の午前科目の知識)</p> <p>《概要》</p> <p>コンピュータのソフトウェアに関する知識を習得する。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ソフトウェアの体系と分類</li> <li>2 オペレーティングシステム</li> <li>3 ファイル <ol style="list-style-type: none"> <li>① アクセス方式</li> <li>② ファイル編成</li> </ol> </li> <li>4 データベース <ol style="list-style-type: none"> <li>① データベースの概要</li> <li>② SQL言語</li> <li>③ いろいろなデータベース</li> </ol> </li> <li>5 システム開発の基礎 <ol style="list-style-type: none"> <li>① システム開発技法</li> <li>② ウォーターフォールモデル</li> <li>③ システムの運用／保守</li> <li>④ システム開発環境</li> <li>⑤ オブジェクト指向開発</li> <li>⑥ Webアプリケーション開発</li> </ol> </li> </ol>			
教科書・参考書	ITワールド(インフォテックサーブ)		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備考	情報処理技術者試験の午前範囲		

教科名	区分	実施時期	時間数
ネットワーク概論	基礎学科	一年次 第一期	50
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>コンピュータシステムに関する知識の習得 (情報処理技術者試験の午前科目の知識)</p> <p>《概要》</p> <p>ネットワークに関する基礎知識を習得する。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 通信ネットワークの仕組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構成</li> </ul> </li> <li>2 通信ネットワークの基礎技術 <ul style="list-style-type: none"> <li>・変調方式、同期方式、誤り制御方式、交換方式、伝送制御</li> </ul> </li> <li>3 ネットワークアーキテクチャ <ul style="list-style-type: none"> <li>・OSI、tcp/ip、各層の役割と主要なプロトコル</li> </ul> </li> <li>4 MACアドレス、IPアドレスとポート番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルアドレス、プライベートアドレス、ドメイン、DNS</li> </ul> </li> <li>5 インタネットセキュリティ <ul style="list-style-type: none"> <li>・暗号化技術、インタネット上の脅威</li> </ul> </li> </ol>			
教科書・参考書	ITワールド(インフォテックサーブ)		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢により評価する。		
備考	情報処理技術者試験の午前範囲		

教科名	区分	実施時期	時間数
安全衛生	基礎学科	一年次一期 二年次一期	20
<b>《 ねらい・到達目標 》</b>  労働災害に対する認識を深め、災害防止に対する行動を習慣づけ、自らの安全と健康を守る態度を習得する。  <b>《 概 要 》</b>  労働安全衛生法、VDT作業の環境、精神衛生問題等についての知識を習得する。			
授 業 内 容			
1 労働安全衛生法 2 災害の原因と傾向 3 VDT作業 4 精神衛生 5 救急処置			
教科書・参考書	配布プリント		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
情報処理システム操作基本実習	基礎実技	一年二期 二年一期	140
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オフィスアプリケーションの操作について習得する。</li> <li>・ プレゼンテーションについて習得する。</li> <li>・ ホームページの構築技法について習得する。</li> </ul> <p>《 概 要 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページの基本構造及びHTMLやスタイルシートについて学ぶ。また、Webアプリケーション構築についての基礎知識を習得する。</li> <li>・ Excel、Accessの基本操作を習得する。</li> <li>・ プレゼンテーション技法を学ぶ。またPowerPointの基本的な操作を習得する。</li> </ul>			
授 業 内 容			
<p>一年次</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HTML ホームページの仕組み 各種タグ スタイルシート</li> <li>・ Excel 基本操作、データ入力、関数の利用、グラフ機能、データベース機能</li> <li>・ Access 基本操作、テーブル定義、クエリの利用、SQL</li> <li>・ PowerPoint 基本操作、テキスト入力、スライド作成、アニメーション</li> </ul> <p>二年次</p> <p>HTML、JavaScript、SQL (MySQL)</p>			
教科書・参考書	10STEPでマスター HTML&CSS入門 (ウィネット) Excelマスター 演習問題集 (ムゲンダイ出版) 配布プリント		
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
プログラミング基本実習	基礎実技	通年	530
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <p>各種言語でプログラム開発ができる</p> <p>《 概 要 》</p> <p>各種言語における特徴的な開発技法と、プログラムでの実現方法を習得する。</p>			
授 業 内 容			
<p>1年次</p> <p>CASL 基本命令、文法の整理、各種アルゴリズム、副プログラム 試験対策</p> <p>C言語 データ型、演算子、関数、制御構造</p> <p>2年次</p> <p>C言語 構造体、ポインタの理解、ファイル操作、応用</p> <p>Java オブジェクト指向開発、UMLでの設計から開発 JavaアプリケーションからサーブレットやJSPによるWebアプリケーションまで</p> <p>JavaScript (Raspberry Pi) IoT受信側プログラミング</p> <p>Python AI入門プログラミング</p>			
教科書・参考書	CASL II (新星出版社) 配布プリント 基礎からのサーブレット/JSP (ソフトバンククリエイティブ)		
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢		
備 考	関連科目：プログラミング論、プログラム設計実習		

教科名	区分	実施時期	時間数
プログラミング基本実習 (CASL)	基礎実技	一年次 二期～三期	160
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>COMET II という情報処理試験のために考えられた仮想のコンピュータのハードウェア及びCOMET II用のアセンブラ言語 (CASL II) の基本命令を理解して、基本的なプログラムが作成できる</p> <p>《概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COMET IIのシミュレータの動作を通して、実際のコンピュータの理解を深める。</li> <li>・CASL IIの基本命令と各種レジスタの関係を理解する。</li> </ul>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>COMET IIの仕様 <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理装置 (ALU、4種類のレジスタ)</li> <li>・主記憶装置 (プログラム内蔵方式、逐次制御方式)</li> </ul> </li> <li>CASL IIの文法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセンブラ命令</li> <li>・マクロ命令</li> <li>・機械語命令</li> </ul> </li> <li>アルゴリズム</li> <li>試験対策</li> </ol>			
教科書・参考書	CASL II完全合格教本【新星出版社】		
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
プログラミング基本実習 (C)	基礎実技	一年三期 二年一期	170
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ C言語での基本的なプログラミングが出来る。</li> <li>・ 構造体、ポインタについて理解している。</li> </ul> <p>《 概 要 》</p> <p>オープン系システムの開発言語として普及しているJava、C++、C#の理解を容易にするため、各言語の基礎となっているC言語を習得する。</p>			
授 業 内 容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 数値計算</li> <li>2 分岐命令</li> <li>3 繰り返し命令</li> <li>4 配列の利用</li> <li>5 データ入力</li> <li>6 ポインタ操作</li> <li>7 関数の作成</li> <li>8 構造体の利用</li> <li>9 ファイル処理</li> <li>10 総合演習</li> </ol>			
教科書・参考書	配布プリント		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と提出課題の評価と授業への取り組み姿勢		
備 考			



教科名	区分	実施時期	時間数
プログラミング基本実習（Java）	基礎実技	二年次 第二期	200
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Javaでの基本的なプログラミングができる。</li> <li>・ UMLを使用したシステム設計・開発ができる。</li> </ul> <p>《 概 要 》</p> <p>Javaによるプログラミング技法及びUMLによるシステム開発技法を習得する</p>			
授 業 内 容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 データ型と演算</li> <li>2 制御構造と配列</li> <li>3 クラスの概念</li> <li>4 クラス、インスタンス、メソッド、コンストラクタ</li> <li>5 UML(クラス図、オブジェクト図、シーケンス図)</li> <li>6 継承、インターフェース、ポリモフィズム、パッケージ</li> <li>7 例外、ファイル</li> <li>8 システム開発</li> </ol> <p>【プログラム設計実習】 UMLによるアルゴリズムの表現から、Javaでのプログラム実装を学ぶ</p>			
教科書・参考書	基礎からのサーブレット/JSP（ソフトバンククリエイティブ）		
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
ネットワーク基本実習	基礎実技	一年次 二期～三期	40
<b>《ねらい・到達目標》</b>  ネットワークを利用するクライアントの管理ができる  <b>《概要》</b>  ハブを利用した簡易なネットワークを構築し、またクライアントの設定を学ぶことによりネットワークに関する基礎技術を習得する			
<b>授 業 内 容</b>			
1 Windowsコマンドプロンプトの概要 2 LANケーブル作成 3 ハブを利用したネットワーク構築 4 クライアントの各種設定 ① ネットワーク設定 IPアドレス、サブネットマスク ② メール設定 ③ インターネット接続設定			
教科書・参考書	配布プリント		
使用機器	LANケーブル、スイッチングハブ、PC		
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
安全衛生作業法	基礎実技	通年	40
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <p>安全意識の高揚、整理整頓の行き届いた環境が作れる。</p> <p>《 概 要 》</p> <p>安全講話や避難防災訓練により安全意識を高める。また、安全で健康に実習ができるよう環境整備を行う。</p>			
授 業 内 容			
<p>1 安全意識の高揚</p> <p>① 安全講話の聴講</p> <p>② 避難防災訓練への参加</p> <p>2 安全作業への取り組み</p> <p>① 生活環境の整備</p> <p>② 作業環境の整備</p> <p>3 ゴミゼロ活動</p>			
教科書・参考書			
使用機器			
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
システム工学	専攻学科	二年次 第一期	90
<p>《ねらい・到達目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上流工程（基本計画・外部設計・内部設計）について、各種のドキュメンテーションを完成させることができる。</li> <li>・1年次に学んだ各種の知識を統合し、システム設計に活用できる。</li> </ul> <p>《概要》</p> <p>ソフトウェア開発モデル（ウォーターフォールモデル）に沿った開発プロセスについて、各種ドキュメンテーションの基礎技術を演習を通じて習得する。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本計画               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 開発計画</li> <li>② 要求定義</li> <li>③ システム化要件</li> </ol> </li> <li>2 外部設計               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 入出力概要設計</li> <li>② コード設計</li> <li>③ ファイル概要設計</li> </ol> </li> <li>3 内部設計               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 入出力詳細設計</li> <li>② ファイル詳細設計</li> </ol> </li> </ol>			
教科書・参考書	システム開発の基礎（アイテック）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
生産管理	専攻学科	一年次 第二期	50
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>コンピュータシステムに関する知識の習得 (情報処理技術者試験の午前科目の知識)</p> <p>《概要》</p> <p>各種管理技法に関する知識を習得する。</p>			
授業内容			
<p>1 経営戦略</p> <p>① 経営戦略マネジメント</p> <p>② 技術戦略マネジメント</p> <p>③ ビジネスインダストリ</p> <p>2 プロジェクトマネジメント</p> <p>① プロジェクトマネジメントの概要</p> <p>② プロジェクトマネジメント・プロセス</p> <p>3 サービスマネジメント</p> <p>① ITサービスマネジメントの概要</p> <p>② ITサービスマネジメント・プロセス</p> <p>4 システム監査と内部統制</p> <p>① システム監査</p> <p>② 内部統制</p>			
教科書・参考書	IT戦略とマネジメント (インフォテックサーブ)		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
プログラム設計実習	専攻実技	一年一期 二年一期	320
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <p>アルゴリズムを記述するための各種技法を学び、処理手順を明確に記述できる。</p> <p>《 概 要 》</p> <p>与えられた課題に対する、処理手順のフローチャートやUMLでの表現方法を習得する。</p>			
授 業 内 容			
<p>1年次</p> <p>基本アルゴリズム プログラムの構成要素について（順次、分岐、繰り返し） 基本的な処理について（計算、配列、探索、整列） 文字列操作、ビット操作、データ構造</p> <p>ファイル処理 プログラム言語(COBOL)による事務処理プログラムについて学ぶ</p> <p>2年次</p> <p>オブジェクト指向 オブジェクト指向プログラミングとしてJavaを学び、UMLによるアルゴリズムの表現からJava言語でのプログラム実装を学ぶ</p>			
教科書・参考書	配布プリント		
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢		
備 考	関連科目：プログラミング論、プログラミング基本実習		

教科名	区分	実施時期	時間数
システム設計実習	専攻実技	二年次 第二期	300
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発の一連の流れを理解し、各種のドキュメンテーションやプログラムを完成させることができる。</li> <li>・1年次に学んだ各種の知識を統合し、システム開発に活用できる。</li> </ul> <p>《 概 要 》</p> <p>小規模なシステムについて、基本計画から開発、テストまでひとつおりの体験することにより、一連の流れを総合的に習得する。</p>			
授 業 内 容			
<p>卒業制作で作成するテーマについてのシステム開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① テーマに関する情報収集、周辺知識の習得</li> <li>② スケジュール設定</li> <li>③ 概要設計</li> <li>④ 詳細設計</li> <li>⑤ プログラミング</li> <li>⑥ テスト</li> </ol>			
教科書・参考書			
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢		
備 考	関連科目：卒業制作		

教科名	区分	実施時期	時間数
業務分析実習	専攻実技	二年次 第一期	70
<b>《 ねらい・到達目標 》</b>  汎用コンピュータでのプログラミングができる			
<b>《 概 要 》</b>  汎用コンピュータを利用して、ファイル処理に関するプログラム設計書の作成からコーディング技法までを習得する。			
<b>授 業 内 容</b>			
1年次に学んだファイル処理のアルゴリズムを中心に、より実務に即した課題について、プログラム設計書の作成からプログラミングまで、汎用コンピュータを用いて実施する。  コーディング技法よりも、ドキュメンテーションを重視する。			
教科書・参考書	配布プリント		
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢		
備 考	プログラミング基本実習、プログラム設計実習		



教科名	区分	実施時期	時間数
ネットワーク構築実習	専攻実技	一年三期 二年二期	140
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <p>サーバを利用したネットワークの構築ができる</p> <p>《 概 要 》</p> <p>ルータを利用したネットワーク構築からサーバ構築までを学び、ネットワーク構築技法を習得する</p>			
授 業 内 容			
<p>1年次</p> <p>CCT（シスコ技術者認定）対策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① IPルーティングの基礎</li> <li>② VLAN間ルーティング</li> <li>③ ダイナミックルーティング</li> <li>④ ネットワークデバイスのセキュリティ</li> </ol> <p>2年次</p> <p>LinuC レベル1（Linux技術者認定試験）対策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① Linuxコマンドの概要</li> <li>② 各種サーバの構築（Apache、Sendmail、Dovecot、samba、tomcatなど）</li> <li>③ DMZの構築（ルータ設定、フィルタ設定）</li> <li>④ セキュリティの設定</li> <li>⑤ 簡単な故障診断</li> </ol> <p>ネットワークの仮想化技術</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 仮想環境の構築（VirtualBox）</li> </ol>			
教科書・参考書	配布プリント、Linux標準教科書（LPI-JAPAN） Linuxサーバ構築標準教科書（LPI-JAPAN）		
使用機器	LANケーブル、ルータ、スイッチングハブ、PC		
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢により評価する。		
備 考	関連科目：システム工学		

教科名	区分	実施時期	時間数
社会	その他学科	一年次 二年次	68
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>専門校生活に必要な心構えや登下校時及び校内における災害発生時などの初動対応について習得する。また、就職活動に向けたセミナーやガイダンスの参加、さらに社会人として持つべき意識や行動のあり方を習得する。</p> <p>《概要》</p> <p>各種行事へ参加し、就職活動に必要な知識や社会人としての規律及び常識を学ぶ。また、就職試験で有利になる社会人基礎力についても学ぶ。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 各種講話</li> <li>3 人権問題研修</li> <li>4 避難・防災訓練</li> <li>5 ゴミゼロ運動</li> <li>6 就職ガイダンス</li> <li>7 業界セミナー</li> <li>8 就職指導</li> <li>9 社会人基礎力</li> </ol>			
教科書・参考書	配布プリント		
使用機器			
成績評価の方法	受講認定		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
体育	その他学科	一年次 二年次	40
<b>《ねらい・到達目標》</b>  クラス内の親睦や専門校生活を有意義に過ごすためにレクリエーション等を通して、体力の向上とコミュニケーションを図る。  <b>《概要》</b>  春、秋にレクリエーションを実施し、クラス内の親睦と専門校生活の充実を図る。			
授業内容			
1 集合と解散の方法 2 レクリエーション（前期・後期） 3 その他のスポーツ			
教科書・参考書			
使用機器	レクリエーション用設備、機器等		
成績評価の方法	受講認定		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
情報処理特論	その他学科	一年次 第二期	136
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>修了試験に合格することにより、基本情報処理技術者試験の午前免除の認定を受ける。</p> <p>《概要》</p> <p>午前試験部分の内容について、問題演習を通じて習得済みの知識を確かなものとする。</p>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報処理技術者試験の午前試験の範囲について、復習する。</li> <li>2 過去数年間分の過去問題を解き、解説をおこなう。</li> </ol>			
教科書・参考書	ITワールド、IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ） 配布プリント（過去問題）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績と授業への取り組み姿勢		
備考	資格試験対策（基本情報技術者試験 午前免除認定講座）		

教科名	区分	実施時期	時間数
コンピュータ制御概論	その他学科	二年次 第二期	14
<p>《ねらい・到達目標》</p> <p>組み込み系システム開発の基礎となるマイクロコンピュータの動作原理や仕組みに関する基礎知識を習得する。</p> <p>《概要》</p> <p>周辺機器を動かすために必要なインターフェースの構造と働きを理解し、実際に外部機器を動かすために必要な基礎知識を習得する</p>			
授業内容			
<p>1 周辺装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力装置（スイッチ、センサなど）</li> <li>・出力装置（モータ、LEDなど）</li> </ul> <p>2 入出力ポートの仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・割り込み、タイマ、PWM制御</li> </ul>			
教科書・参考書	配布プリント		
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢により評価する。		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
情報処理実務実習	その他実技	通年	244
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理系展示会への参加および見学報告書・プレゼンテーション</li> <li>・校外で情報処理の実務について学ぶ（インターンシップ）</li> <li>・資格試験に出題されるプログラミングについて学ぶ</li> </ul> <p>《 概 要 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理系展示会への参加したのちに、報告書の作成または報告会を実施し、基本的なドキュメンテーション能力とプレゼンテーション能力を習得する</li> <li>・インターンシップでの勤労体験で情報処理の実務に対する理解を深め、社会性を得る</li> </ul>			
授 業 内 容			
<p>施設見学等 1・2年次            情報処理系展示会への参加後は報告書の作成またはプレゼンテーションを行う</p> <p>1年次1回目：報告書の作成            1年次2回目：報告会（プレゼンテーション）            2年次1回目：報告会（プレゼンテーション）            2年次2回目：報告書の作成</p> <p>インターンシップ 1年次</p> <p>基本情報技術者午後問題対策 2年次</p>			
教科書・参考書			
使用機器			
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
卒業制作	その他実技	二年次 第三期	294
<p>《 ねらい・到達目標 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジューリング能力（開発計画の立案、工程管理ができる）</li> <li>・課題解決能力（問題が発生したときに自分で解決できる）</li> <li>・プレゼンテーション能力（制作物についてのPRができる）</li> </ul> <p>《 概 要 》</p> <p>小規模なシステムについて、基本計画から開発、テストまでひとつおひと体験することにより、一連の流れを総合的に習得するとともに、問題が発生したときの自己解決能力の向上をめざす。</p>			
授 業 内 容			
<p>作成するシステムのテーマについては、指導員と協議の上決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 個人での作成を原則とする。</li> <li>② テーマ選定については、就職先での業務を踏まえ、本人に資するものとする。</li> <li>③ 自律的な学習を主体とし、必要に応じて指導員がフォローする。</li> </ol> <p>※制作過程において3回プレゼンテーションを行う。（テーマ決定、中間、最終）  ※卒業論文として制作過程で作成した各種ドキュメントを提出する。</p>			
教科書・参考書			
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢		
備 考	関連科目：システム設計実習		

教科名	区分	実施時期	時間数
コンピュータ制御システム設計実習	その他実技	二年次 第二期	26
<b>《ねらい・到達目標》</b>  制御系プログラムの基礎を習得する。  <b>《概要》</b>  簡単な外部機器を制御するためのプログラムの作成を通して、制御系プログラムの基礎知識を習得する			
<b>授 業 内 容</b>			
1 LED制御 2 モータ制御プログラム 3 センサ入力によるモータの制御 4 ライトレーザプログラミング			
教科書・参考書	配布プリント		
使用機器			
成績評価の方法	提出課題の評価と授業への取り組み姿勢により評価する。		
備 考			